

「即時原発ゼロ」宣言

緑の党 結成

2012・7・29 東京



脱原発を掲げ、国政
進出を目指す日本版
「緑の党」の結成総会
が二十八日、都内で開
かれた。党の規約、基
本政策を正式決定し、
来夏の参院選、次期衆
院選に向けた選挙準備
の方針を決めた。
党の共同代表には須
黒奈緒杉並区議、中山
均新潟市議ら四人を選
出した。
須黒氏は「再生可能
エネルギーで雇用を生

述べ、国政選挙などで
脱原発を求め、有権者
の受け皿を目指す考え
を強調した。

緑の党は参院選で、
比例代表五～七人、都
市部の選挙区で三～
五人、計十人以上の候
補者を擁立し、複数の
当選を目指す。候補者
は予備選挙を行って決
める方針で、早ければ
十一月ごろ、一次公認
候補を発表する。

中山氏は「脱原発を
実現する上で信頼でき
る既成政党はない」と

また、衆院選が年内
に行われると想定。
参院選に向けた準備
と位置付けて「脱原
発」を掲げる市民団体
や地域政党と連携し、
比例東京ブロックで
候補者擁立を検討す
る。

政策面では①福島第
一原発事故を収束させ
「原子力ムラ」を解体
する②開かれた熟議と
参加民主主義を経て脱

また、消費税増税に
ついては、現時点での
引き上げは否定。どう
しても引き上げが必要
な場合には、低所得者
対策や中小企業対策を
前提とする。

原発を実現する③持続
可能なエネルギー社会
へシフトする一などを
柱とする基本政策を決
めた。

また、消費税増税に
ついては、現時点での
引き上げは否定。どう
しても引き上げが必要
な場合には、低所得者
対策や中小企業対策を
前提とする。

緑の党は環境政策に
強い影響力を持つ欧州

諸国の「緑の党」をモ
デルとしている。二十
八日の結成総会にはド
イツ、オーストラリ
ア、インドの「緑の
党」の幹部も出席、連
携を確認した。

緑の党の設立準備を
中心になって進めてき
た、一般市民や約七十
人の地方議員でつくる
団体「みどりの未来」
は、緑の党の結成をも
って解散した。

緑の党の設立準備を
中心になって進めてき
た、一般市民や約七十
人の地方議員でつくる
団体「みどりの未来」
は、緑の党の結成をも
って解散した。